

第45回衆議院選挙における民主党と新党大地の選挙協力について

今日、日本の政治・経済・社会は、格差社会から階級社会となり、国民の不安は日々高まり、更には弱肉強食の一握りの強い者優先の政治で国民はやる気を失っている。この窮状を打開し、明日に希望の持てる日本をつくるためには、地方や弱者を切り捨ててきた官僚政治、新自由主義政策と決別し、新しい政治体制を実現するしかない。

以上の認識を共有し、民主党と新党大地は、「政権選択」を問う第45回衆議院選挙にあたり、以下のような協力を行う。

1. 民主党と新党大地は、第45回衆議院選挙において、「官僚主導の中央集権から地方主体の分権型社会」への転換、「格差を是正し、誰もが安心して暮らせる社会」の構築をめざし、人が人らしく生活する新たな政権の実現の為、力を合わせてともにたたかう。
2. 民主党は、比例代表選挙北海道ブロックにおいて、新党大地の議席増に全力をあげる。
3. 新党大地は、北海道の小選挙区選挙において、民主党公認候補の当選に全力をあげる。

※ 尚、民主党は新党大地の掲げるアイヌ民族の権利の確立、ロシアとの関係強化（北方領土返還、サハリンからのエネルギーの確保）、郵政民営化の見直し、食糧基地としての北海道の重要性・一次産業の確立、豊かな大地・自然を生かした観光産業の振興、元気の出る北海道、明日の日本をつくる北海道という位置づけを理解し、弱者・生活者にやさしい政策として、後期高齢者医療制度・障害者自立支援法の廃止と確かな年金制度の確立や雇用の確保等、その政策遂行に全面的に協力していく。

2008年11月7日

民主党代表

新党大地代表